

Tokyo Tech

データブック 2023-2024

<https://www.titech.ac.jp>

国立大学法人東京工業大学 総務部広報課

〒152-8550 東京都目黒区大岡山2-12-1 tel: 03-5734-2975 fax: 03-5734-3661

2023年10月発行 ©2023 東京工業大学



東京工業大学
Tokyo Institute of Technology

Tokyo Tech

Tokyo Institute of Technology

2023-2024

Index

沿革

沿革図	02
2022年の出来事	03
歴代校長・学長	03

組織

組織図	04
役職者一覧	06

学院・リベラルアーツ研究教育院

学院、系・専門職学位課程一覧	07
リベラルアーツ研究教育院	07

科学技術創成研究院等

科学技術創成研究院	08
国際先駆研究機構	09
附属高校	10
附属図書館	10
共通教育組織	10
共通支援組織	11

教職員・学生

教職員・学生数	12
入学状況	19
進路状況・学位授与数	20

プログラム

教育プログラム	22
研究プログラム	23

産学連携・社会連携

企業・自治体との協定等	24
共同研究講座	24
2022年度知財管理	25
東工大発ベンチャー企業	25

国際交流

海外の協定校一覧	26
海外拠点	30

財務情報

2023年度 収入と支出（見込）	31
貸借対照表・損益計算書・外部資金詳細	32

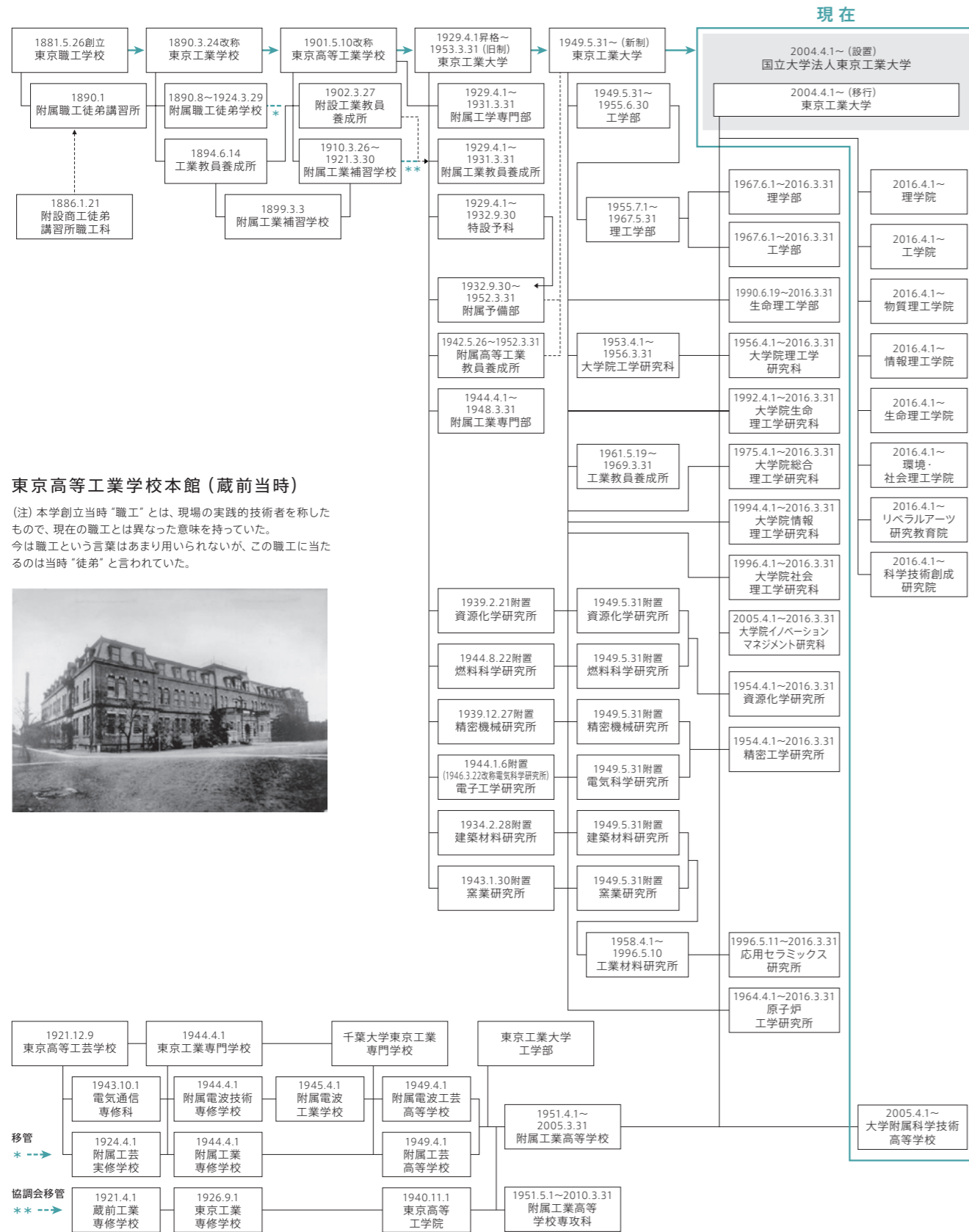
キャンパス

アクセス	33
キャンパスマップ	34



沿革

沿革図



2022年の出来事

月日	沿革
4. 1	学長選考会議を学長選考・監察会議に名称変更
	企画本部を設置
	国際先駆研究機構を設置
	教育・国際連携本部を教育本部に名称変更
	サイバーセキュリティ研究センターをサイバーセキュリティ研究教育センターに名称変更
10. 1	ダイバーシティ推進室, 戦略的経営オフィス, 地球インクルーシブセンシング研究機構, 理財科学研究センター, 量子物理学・ナノサイエンス先端研究センター及び先進エネルギーソリューション研究センターを廃止
	元素戦略研究センターを廃止し, 元素戦略MDX研究センターを設置
12. 1	データサイエンス・AI全学教育機構を設置

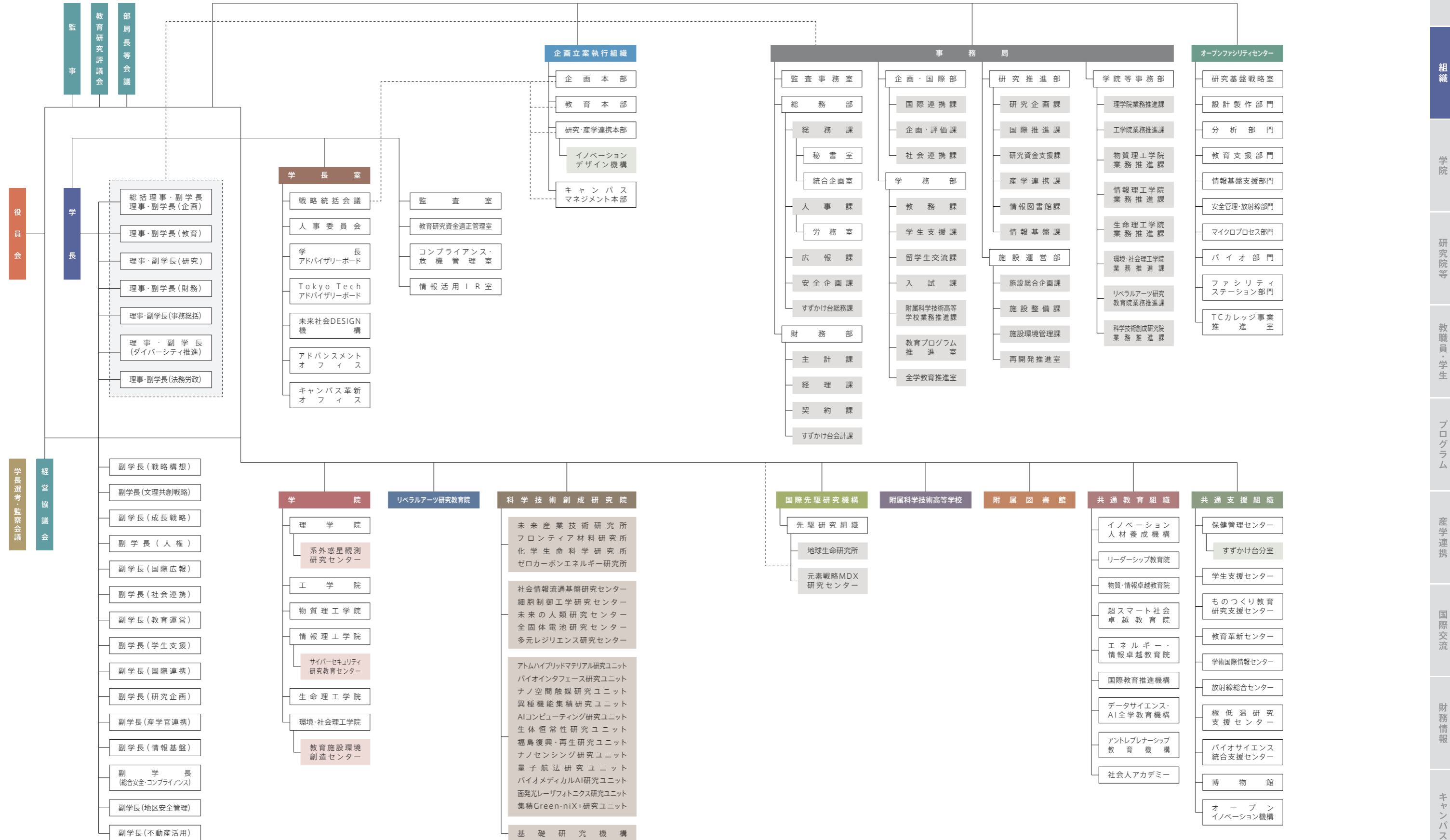
歴代校長・学長

就任年月	氏名	就任年月	氏名
1881年 5月	山岡 次郎(事務取扱)	1966年 8月	實吉 純一
1881年 9月	正木 退蔵	1968年 8月	斯波 忠夫(事務取扱)
1890年 3月	手島 精一	1968年 10月	斯波 忠夫
1898年 2月	阪田 貞一	1969年 5月	加藤 六美(事務取扱)
1899年 2月	手島 精一	1969年 10月	加藤 六美
1901年 5月	手島 精一	1973年 10月	川上 正光
1916年 9月	阪田 貞一	1977年 10月	齋藤 進六
1920年 12月	吉武 栄之進	1981年 10月	松田 武彦
1926年 6月	中村 幸之助	1985年 10月	田中 郁三
1929年 4月	中村 幸之助	1989年 10月	末松 安晴
1942年 3月	八木 秀次	1993年 10月	木村 孟
1944年 12月	渡辺 孫一郎(事務取扱)	1997年 10月	内藤 喜之
1944年 12月	和田 小六	2001年 10月	相澤 益男
1952年 6月	山本 勇(事務取扱)	2007年 10月	伊賀 健一
1952年 8月	内田 俊一	2012年 10月	三島 良直
1958年 8月	山内 俊吉	2018年 4月	益 一哉
1962年 8月	大山 義年		

組織

組織図

2023年7月1日現在



組織

役職者一覧

2023年10月1日現在

所属・役職等	氏名	
役員	学長	益 一哉
	総括理事・副学長、理事・副学長（企画担当）	佐藤 勲
	理事・副学長（教育担当）	井村 順一
	理事・副学長（研究担当）	渡辺 治
	理事・副学長（財務担当）	芝田 政之
	理事・副学長（事務総括担当）・事務局長	湊屋 治夫
	理事・副学長（ダイバーシティ推進担当）	桑田 薫
	理事・副学長（法務労政担当）	川端 小織
	監事	小倉 康嗣
	監事	三矢 麻理子
副学長	副学長（戦略構想担当）	山田 明
	副学長（文理共創戦略担当）	上田 紀行
	副学長（成長戦略担当）	松下 伸広
	副学長（人権担当）	木下 潮音
	副学長（国際広報担当）	岩附 信行
	副学長（社会連携担当）	日置 滋
	副学長（教育運営担当）	神田 学
	副学長（学生支援担当）	岡村 哲至
	副学長（国際連携担当）	林 宣宏
	副学長（研究企画担当）	—
	副学長（産学官連携担当）	大嶋 洋一
	副学長（情報基盤担当）	伊東 利哉
	副学長（総合安全・コンプライアンス担当）	湯浅 英哉
	副学長（地区安全管理担当）	扇澤 敏明
	副学長（不動産活用担当）	宮原 義昭
特別学長補佐	学長特別補佐	松下 伸広
	学長特別補佐	波多野 睦子
	学長特別補佐	大嶋 洋一
	学長特別補佐	柳瀬 博一
	学長特別補佐	上田 紀行
	学長特別補佐	三原 久和
理事・副学長 総括補佐等	総括理事・副学長特別補佐	江端 新吾
	理事・副学長総括補佐（研究担当）	原 亨和
	理事・副学長特別補佐（企画担当）	伊藤 紀子
	理事・副学長特別補佐（教育担当）	腰原 伸也
	理事・副学長特別補佐（教育担当）	間中 孝彰
	理事・副学長特別補佐（研究担当）	竹下 健二
	理事・副学長特別補佐（研究担当）	細野 秀雄
	理事・副学長特別補佐（研究担当）	小山 二三夫
	理事・副学長特別補佐（研究担当）	林 宣宏
	理事・副学長特別補佐（研究担当）	岩波 光保
	理事・副学長特別補佐（研究担当）	益 一哉
	理事・副学長特別補佐（研究担当）	佐藤 勲
経営協議会 構成員	学長	益 一哉
	総括理事・副学長、理事・副学長（企画担当）	佐藤 勲
	理事・副学長（教育担当）	井村 順一
	理事・副学長（研究担当）	渡辺 治
	理事・副学長（財務担当）	芝田 政之
	理事・副学長（事務総括担当）・事務局長	湊屋 治夫
	理事・副学長（ダイバーシティ推進担当）	桑田 薫
	理事・副学長（法務労政担当）	川端 小織
	株式会社JR東日本パーソナルサービス顧問、東日本旅客鉄道（株）前監査役、一般社団法人蔵前工業会相談役	石田 義雄
	（株）NextDecade総合研究所社長	和泉 法夫
	一般社団法人蔵前工業会理事長	井戸 清人
	独立行政法人日本芸術文化振興会顧問	河村 潤子
	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構理事長	久間 和生
	津田塾大学学長	高橋 裕子
	港区長	武井 雅昭
独立行政法人国立高等専門学校機構理事長	谷口 功	
（株）STOCK POINT 代表取締役	土屋 清美	
Sozo Ventures,L.L.C. シニア マネージング ディレクター	中村 幸一郎	
環境・社会理工学院教授	後藤 美香	
教育研究評議会	学長	益 一哉
	総括理事・副学長、理事・副学長（企画担当）	佐藤 勲
	理事・副学長（教育担当）	井村 順一
	理事・副学長（研究担当）	渡辺 治
	理事・副学長（財務担当）	芝田 政之
	理事・副学長（事務総括担当）・事務局長	湊屋 治夫
	理事・副学長（ダイバーシティ推進担当）	桑田 薫
	理事・副学長（法務労政担当）	川端 小織
	理学院長	山田 光太郎
	理学院長	井上 光太郎

所属・役職等	氏名	
教育研究評議会	工学院院长	井上 光太郎
	物質理工学院長	関口 秀俊
	情報理工学院長	増原 英彦
	生命理工学院長	梶原 将
	環境・社会理工学院院长	高田 潤一
	リベラルアーツ研究教育院長	山崎 太郎
	科学技術創成研究院長	大竹 尚登
	大学院生命工学研究科長	梶原 将
	大学院総合理工学研究科長	三宅 美博
	大学院社会理工学研究科長	高田 潤一
	大学院イノベーションマネジメント研究科長	日高 一義
	附属図書館長	森川 淳子
	副学長（戦略構想担当）	山田 明
	副学長（文理共創戦略担当）	上田 紀行
	副学長（成長戦略担当）	松下 伸広
	副学長（国際広報担当）	岩附 信行
	副学長（教育運営担当）	神田 学
	副学長（学生支援担当）	岡村 哲至
	副学長（国際連携担当）	林 宣宏
	副学長（研究企画担当）	—
	副学長（産学官連携担当）	大嶋 洋一
	副学長（情報基盤担当）	伊東 利哉
	副学長（総合安全・コンプライアンス担当）	湯浅 英哉
	副学長（地区安全管理担当）	扇澤 敏明
	理学院教授	中本 泰史
学長選考・監査会議構成員	工学院教授	山口 雅浩
	物質理工学院教授	中島 章
	情報理工学院教授	小池 英樹
	生命理工学院教授	廣田 順二
	環境・社会理工学院教授	竹内 徹
	リベラルアーツ研究教育院教授	弓山 達也
	科学技術創成研究院教授	山元 公寿
	科学技術創成研究院教授	加藤 貴之
	学術国際情報センター教授	青木 尊之
	株式会社JR東日本パーソナルサービス顧問、東日本旅客鉄道（株）前監査役、一般社団法人蔵前工業会相談役	石田 義雄
	（株）NextDecade総合研究所社長	和泉 法夫
	一般社団法人蔵前工業会理事長	井戸 清人
	独立行政法人日本芸術文化振興会顧問	河村 潤子
	津田塾大学学長	高橋 裕子
	理学院教授	中本 泰史
工学院教授	山口 雅浩	
生命理工学院教授	廣田 順二	
環境・社会理工学院教授	竹内 徹	
リベラルアーツ研究教育院教授	弓山 達也	
部局長等	理学院長	山田 光太郎
	工学院院长	井上 光太郎
	物質理工学院長	関口 秀俊
	情報理工学院長	増原 英彦
	生命理工学院長	梶原 将
	環境・社会理工学院院长	高田 潤一
	リベラルアーツ研究教育院長	山崎 太郎
	科学技術創成研究院長	大竹 尚登
	大学院生命工学研究科長	梶原 将
	大学院総合理工学研究科長	三宅 美博
	大学院社会理工学研究科長	高田 潤一
	大学院イノベーションマネジメント研究科長	日高 一義
	附属図書館長	森川 淳子
	附属科学技術高等学校長	中川 茂樹
	オープンファシリティーセンター副センター長	岩附 信行
センター長等会議主査	秋山 泰	
事務局	事務局長	湊屋 治夫
	総務部長	塚田 由佳
	財務部長	吉成 竜也
	企画・国際部長	辻 邦章
	学務部長	関根 直子
	研究推進部長	玉井 英司
	施設運営部長	小湊 啓一
	学院等事務部長	三橋 ゆう子

学院・リベラルアーツ研究教育院

学院、系・専門職学位課程一覧

2023年5月1日現在

学院

本学は2016年4月より学部と大学院を統一し、新たに「学院」をスタートさせました。これまでの3学部23学科、6研究科45専攻から、6学院19系・1

専門職学位課程となって卓越した専門性とリーダーシップを備えた理工系人材を育成しています。

● 理学院

系	数学系
	物理学系
	化学系
学院研究センター	地球惑星科学系
	系外惑星観測研究センター

● 工学院

系	機械系
	システム制御系
	電気電子系
	情報通信系
	経営工学系

● 物質理工学院

系	材料系
	応用化学系

● 情報理工学院

系	数理・計算科学系
	情報工学系
学院研究センター	サイバーセキュリティ研究センター

● 生命理工学院

系	生命理工学系
---	--------

● 環境・社会理工学院

系	建築学系
	土木・環境工学系
	融合理工学系
	社会・人間科学系
	イノベーション科学系
専門職学位課程	技術経営専門職学位課程
学院研究センター	教育施設環境創造センター

リベラルアーツ研究教育院

リベラルアーツ研究教育院は21世紀社会の時代的課題を把握し、その中で自らの役割を認識する「社会性」、自らを深く探究する「人間性」、行動し、

挑戦、実現する「創造性」を兼ね備え、より良き未来社会を築く「志」のある人材を育成します。

科学技術創成研究院等

科学技術創成研究院

科学技術創成研究院は、未来産業技術研究所、フロンティア材料研究所、化学生命科学研究所、ゼロカーボンエネルギー研究所の4つの研究所、5つの研究センター、12の研究ユニット及び基礎研究機構から構成されます。知の結集を

研究所

● 未来産業技術研究所

機械工学、電気電子工学、金属工学、情報工学、環境工学、防災工学、社会科学等の異分野融合により、新たな産業技術を創成し、豊かな未来社会の実現に貢献することをミッションとして、研究に取り組んでいます。異分野融合の具体的な取り組みとして、ネットワーク型共同研究拠点「生体医歯工学共同研究拠点」として共同研究を推進しています。

● 化学生命科学研究所

研究所のミッションを「分子を基盤とする化学および生命科学に関する基礎から応用までの研究の深化、発展を通じて、新しい学理の創成と次世代科学技術の創出を実現し、人類の高度な文明の進化と、より豊かで持続可能な社会の具現化に貢献する。」と定め、物質・資源・エネルギー・生命をキーワードとして、豊かな暮らしの実現に向けて研究を推進します。

研究センター

● 社会情報流通基盤研究センター

行政機関や医療機関等が管理する個人情報、本人が必要に応じて取得・確認・利活用できる安全確実な社会情報流通基盤を整備・活用し、行政のワンストップサービスや生涯に渡る個人健康管理を実現するための研究開発を実施しています。

● 未来の人類研究センター

数十年、数百年先の人類を見据えた現実的かつ本質的な問いを再設定し、理工系の最先端の研究と歩調を合わせながら、科学技術が人間にもたらす変化や守るべき価値、その可能性について多角的に探索し、シンポジウムや書籍、ウェブ記事、ラジオといった多様な仕方で発信します。

● 多元レジリエンス研究センター

多様な時間軸・空間軸にわたる災害（社会課題）への対策研究を集結・融合し、研究院のシンクタンク機能の強化、防災研究の成果による社会貢献を加速させます。また、並行して地震や火山噴火などの自然災害に対する中長期的な防災力の強化も進めます。

研究ユニット

● アトムハイブリッドマテリアル研究ユニット

規則的な幾何学構造を持つ精密高分子構造体を利用して、同一もしくは異なる元素を任意の原子数単位で精密に配合したサブナノ粒子を合成し、次世代の革新的な機能を有するサブナノ粒子群の創製を目指します。

図り、革新的な科学技術を開拓し、新たな研究領域の創出と人類社会の課題解決、将来の産業基盤の育成を強く意識した世界トップレベルの研究成果創出を使命とします。

● フロンティア材料研究所

多様な元素から構成される無機材料を中心として、有機・金属材料などの広範な物質・材料系との融合を通じて革新的物性・機能を有する材料を創製し、これらの材料に関する新しい学理を探究し、社会の諸問題の解決に寄与することを目的としています。本研究所は共同利用・共同研究拠点「先端無機材料共同研究拠点」として、全国の関連分野の研究者との共同研究を推進しています。

● ゼロカーボンエネルギー研究所

再生可能エネルギーや原子力エネルギーなどのゼロカーボンエネルギーとその利用システムを開発し、カーボンニュートラル（CN）社会の実現に向けて環境と調和し、かつ経済的な持続可能な社会の基盤創成を目的とします。さらにCNの実現に不可欠な電力および熱エネルギーの貯蔵、エネルギーキャリアへの変換、エネルギー社会を支える物質循環システムについても研究し、グリーントランスフォーメーションによる産業・社会の構造変化を先導していきます。

● 細胞制御工学研究センター

生命の基本単位である細胞レベルの生命現象に焦点を当てて先端的な基礎研究を進めるとともに、それら基礎研究の成果を利用した医療と創薬の基盤技術の確立という社会還元も見据えた研究を推進します。

● 全固体電池研究センター

安全性・安定性に優れ、エネルギー密度も高いことが期待される全固体電池のキーテクノロジーである超イオン伝導体（固体でありながら、構造の中を高速でイオンが動き回る特長を持った物質）の開発をリードしている優位性を発揮し、全固体電池の実用化を促進します。

● バイオインタフェース研究ユニット

生体情報から身体を調整する仕組みを研究することにより、身体の状態を可視化する実用化技術の開発を行います。医療や福祉の現場に活かせるような幅広い用途への活用を目指します。

● ナノ空間触媒研究ユニット

ナノ空間構造の自在制御・機能化を達成し、地球上に存在する多様な炭素資源を有用化学品に変換可能なナノ空間触媒を創製し、資源の有効利用と化学品製造プロセスのグリーン化を目指します。

● AIコンピューティング研究ユニット

手続き型から構造型への情報処理の変革を研究主題とし、広義の人工知能アプリケーションの加速を目指して、深層ニューラルネットワーク（DNN）、統計的機械学習、最適化問題などに適した新しいコンピューティングアーキテクチャの創出を目指します。

● 福島復興・再生研究ユニット

2011年の福島第一原子力発電所事故で放出された放射性物質によって原発周囲の環境が汚染され、原子力の安全性への信頼を大きく損なう結果となりました。本ユニットでは未曾有の原発事故からの福島の早期復興を目指して環境回復、廃炉促進のための基盤技術構築に取り組んでいます。

● 量子航法研究ユニット

航法を支える各種センサーについて、古典から量子に至る最先端技術を開発・融合し、海中や外宇宙にまで人類の精密な活動空間を広げます。さらに地球内部を診断することで防災・減災へ役立てるなど、航法科学の新たな応用先を開拓します。

● 面発光レーザフォトンクス研究ユニット

面発光レーザフォトンクスを起点として、超高速大容量光通信・インターコネク、高解像3Dセンシングなど、2030年代の産業・社会の基盤になると想定される次世代情報通信技術“Beyond 5G”を支えるフォトンクスの基盤技術構築を推進します。

基礎研究機構

世界的に著名な研究者を塾長とする「専門基礎研究塾」と「広域基礎研究塾」を設置し、社会的な期待や責任を自覚しつつ創動的・萌芽的な研究を推

国際先駆研究機構

本学の研究戦略に基づき、強力な国際的な連携のもと未開拓・革新性の高い研究に挑戦する世界最高水準の研究拠点を複数構築するための全学的な

先駆研究組織

● 地球生命研究所

WPI*アカデミー拠点。地球の起源・進化の研究から得た初期地球環境の情報を基に、生命起源の謎に迫ります。地球惑星科学及び生命科学を融合した生命惑星学を開拓し、世界的研究拠点を目指します。

(注) *WPI→文部科学省世界トップレベル研究拠点プログラム

IRFI研究体

● 量子コンピューティング研究拠点

高機能な量子コンピュータの将来的な実現に向けて、量子ゲート方式および量子アニーリング方式の量子コンピューティングにかかわる基礎理論の研究を中

● 異種機能集積研究ユニット

伝送エネルギーと伝送帯域で究極性能をほこるBBCube三次元大規模集積技術を開発しています。三次元集積には欠かせないWOW/COWプロセスを300mmウエハで開発し、これらを産学による国内唯一の開発プラットフォーム（WOWアライアンス）で取り組んでおります。ポストスケーリングの半導体市場向けに、国際競争力のある超小型BBCubeシステムの社会実装を目指します。

● 生体恒常性研究ユニット

生体は体温や血糖値を始めとする体内環境を一定に保つ恒常性維持機能を備えています。このユニットは、生体がもつ様々な恒常性維持機能の内、特に体液恒常性、血圧、そして肥満を制御する脳内機構の解明を目指します。

● ナノセンシング研究ユニット

社会の最上位の目的であるhappiness & well-beingの基礎となる「健康と安全な食」を支えるため、超高感度加速度センシングシステムを実用化し持続可能な「医療と食生産」に応用することを目指します。

● バイオメディカルAI研究ユニット

私どもが25年以上に渡って培ってきた深層学習研究と医療分野での社会実装の実績を活かし、現在の深層学習が抱える課題を解決する次世代AIモデルと基盤技術を開発、AIの成長分野である生体医学分野に応用し、国内外の病院、企業、官公庁、研究機関との共同研究でその社会実装を推進します。

● 集積Green-niX⁺研究ユニット

半導体集積回路はムーアの法則の実現を目標としたデバイスの微細化を基軸に、高速化や低消費電力化を進めてきました。当ユニットではさらなる高性能化を目指して2次元半導体を用いたトランジスタや熱電素子デバイスの3次元的な高集積化の研究を行っています。

進することのできる人材を育成します。世界トップレベルの研究者を輩出し、もって、科学技術の進展に資することを目的としています。

研究組織。「飛躍的な研究推進で社会に貢献」という本学の基本方針を実現する研究力強化方策の一つとして2022年4月に設置されました。

● 元素戦略MDX研究センター

資源の乏しい我が国には「元素戦略」は重要な研究であり、この研究を実施する組織として2012年に「元素戦略研究センター（MCES）」が誕生しました。2015年には、世界初の元素戦略専用施設として新棟を竣工し、文部科学省「元素戦略プロジェクト<研究拠点形成型>」の「東工大元素戦略拠点」（2022年完遂）と科学技術振興機構「ACCEL細野エレクトライドプロジェクト」（2018年完遂）が運営されてきました。2022年度に、文部科学省「データ創出・活用型マテリアル研究開発プロジェクト」に採択されたことを機に、これまでの研究を継承しつつ、新たに「マテリアル・デジタル・トランスフォーメーション（MDX）」およびアンモニア合成触媒の研究を実施する組織「元素戦略MDX研究センター（MDXES）」に改称されました。

長期的な視野に立って強力に推進します。また、社会人を対象とした量子コンピューティングの基礎理論講座を開講し、広い視野を持つ人材を育成します。

附属高校

● 附属科学技術高等学校

東京工業大学附属科学技術高等学校はスーパーサイエンスハイスクールに指定され、新しい教育システムを実践し、成果を普及すると共に、その定着を通して科学技術を志向する全人的教育を目指します。

また、本学と一体となった理工学教育のあり方を求め、高大連携教育を実施しております。

2023年5月1日現在

学科名	入学定員	1学年		2学年		3学年		合計		
		男	女	男	女	男	女	男	女	計
科学・技術科	200	146	57					146	57	203
応用化学分野				26	16	27	10	53	26	79
情報システム分野				37	5	30	6	67	11	78
機械システム分野				36	5	32	2	68	7	75
電気電子分野				32	8	19	6	51	14	65
建築デザイン分野				26	7	19	7	45	14	59
合計	200	146	57	157	41	127	31	430	129	559

附属図書館

● 附属図書館

附属図書館は、理工系外国雑誌を中心とした専門性の高い蔵書を整備して、学内外の利用に供しています。電子図書館機能の拡充にも取り組んでおり、

電子ジャーナルをはじめとして、インターネットを介して豊富なサービスを提供しています。

蔵書数(図書) 2023年4月1日現在(冊数)

区分	大岡山	すずかけ台	合計
和書	246,427	50,144	296,571
洋書	399,225	60,201	459,426
合計	645,652	110,345	755,997

蔵書数(雑誌) 2023年4月1日現在(種類数)

区分	大岡山	すずかけ台	合計
和書	2,789	377	3,166
洋書	11,547	1,226	12,773
合計	14,336	1,603	15,939

電子資料 2023年4月1日現在(点数)

区分	電子ジャーナル	電子ブック	データベース
国内資料	22	1,946	4
外国資料	11,986	33,142	5

2022年度利用状況

区分	大岡山	すずかけ台	合計
入館者数	177,819	33,752	211,571
館外貸出数	63,350	14,844	78,194

共通教育組織

● イノベーション人材養成機構

全学を対象とする大学院キャリア科目の設置や運営を行っています。キャリア科目は大学院課程(修士課程及び博士後期課程)修了に必要要件となっており、キャリアプランに応じた意識涵養、実地研修等の教育を実施しています。

● リーダーシップ教育院

修士・博士後期課程を一貫した教育体系のもとで専攻分野や国籍・文化的背景の異なる学生同士が切磋琢磨し、学術分野の枠を超えた多様な人々を巻き込んで将来の国際社会を牽引することができるリーダーシップを備えた人材を養成します。

● 物質・情報卓越教育院

物質と情報をリンクさせ、情報科学を駆使して複眼的・俯瞰的視点から発想することで、独創的な物質・情報研究を進める「複素人材」を育成します。修博一貫の国際的に卓越した博士教育を、国内外の大学・研究機関・民間企業と組織的に連携して実施しています。

● エネルギー・情報卓越教育院

本教育院は、修博一貫教育により、エネルギーの多学的学理を基に、ビッグデータ科学を活用し、エネルギーデバイス/システム/シナリオについての研究・開発を行い、新しいエネルギー社会をデザインし、変革を駆動する人材「マルチスコープ・エネルギー卓越人材」を育成します。

● データサイエンス・AI全学教育機構

多様な専門分野の垣根を越えて本学全体のデータサイエンス・AI教育を推進し、領域横断的に社会的課題を解決できる「共創型エキスパート」人材の育成に貢献しています。さらに、この教育を大学内で実施するだけでなく、国内外の他大学への展開を行っています。

● 社会人アカデミー

技術革新の著しい進展や産業構造の変化に伴う各種ニーズに対応した社会人の学び直しを推進するため、産業界が求める新たな高度技術や知識の広がりが必要とする人々に、さまざまな講習プログラムを提供しています。

共通支援組織

● 保健管理センター

本学における保健管理に関する専門的業務を行っています。医師・カウンセラー・保健師・看護師が、健康診断の実施や日頃の健康相談、カウンセリング、また安全衛生に関する研修や講習会などを通じて、学生および職員の心身の健康の保持増進を支援しています。

● 教育革新センター

本学の教育研究理念・戦略に基づき、教授力と教育意識の高い教員の育成と、学習意欲に溢れた学力及び人間力の高い学生の育成を図り、世界最高の理工系総合大学の実現に資することを目的とし、設立されました。「教育の質保証体制の構築」「教育能力開発」「教育学習環境開発」を柱とし、各種FD研修、授業学修アンケート、アクティブ・ラーニングの推進、MOOC開発などを行っています。

● 学術国際情報センター

スパコン、認証システム・メール・ネットワーク等情報基盤、ソフトウェア包括契約等のサービス提供をしています。また、学際大規模情報基盤共同利用・共同研究拠点の活動、HPCIへの資源提供をしています。

● 極低温研究支援センター

研究活動の基盤となる寒剤の供給や低温技術の提供、寒剤利用に関する安全教育などによって、極低温下における物性研究及び理工学の基礎研究を支援しています。

● 博物館

本学の創設以来140余年にわたる教育や研究の歴史的成果や記録を収集・保存し、その調査・研究の業績を展示しています。併設の資史料館と公文書室では、大学の保有する重要な文書類の保存・活用を進め、「国立公文書館等」(＝国立公文書館に類する機能を有する施設)の役割も担っています。

● 超スマート社会卓越教育院

修士・博士後期課程を一貫した学位プログラムにより、フィジカル空間技術とサイバー空間技術の統合にとどまらず、量子科学や人工知能などの最先端の科学技術を融合できる知のプロフェッショナルを育成します。国内外の大学、研究機関、民間企業、自治体、省庁と連携し、社会連携教育・異分野融合研究を推進しています。

● 国際教育推進機構

本学の国際化を推進するための効果的な国際教育の実施を担っており、関係部局等との連携により、主に全学共通で実施する国際教育プログラムの計画・運営、本学学生の国際経験の促進、外国人留学生の予備教育の実施等に関することを担当しています。

● アントレプレナーシップ教育機構

グローバル化、地球環境、安全保障などの問題が複雑に絡み合う、予測困難な時代(VUCAの時代)の国際社会を生きるために求められる素養としての「アントレプレナーシップ」、すなわち「新たな価値を開発・開拓し、それを社会に事業として設定する行動体系(マインドセット・スキル)」を全課程および全学生に醸成することを目標としています。

● 学生支援センター

学生生活すべてを様々な角度から支援していくために2部門体制で運営しています。学生相談部門は、学生生活に関する相談対応を行う学生相談室・電話相談デスク、障害学生のトータル支援を行うバリアフリー支援室の運営を行っています。未来人材育成部門は、就職イベントの開催やキャリア支援、学勢調査・ピアサポート等の学生が主体となる活動の支援、学修コンシェルジュによる入学直後の学生の修学支援、留学生の日本文化体験や留学生と日本人学生の交流イベントの実施などの国際交流に関する支援を行っています。

● ものづくり教育研究支援センター

ものづくり教育とそのための研究及び地域連携を全学横断的に支援することを目的に設置された組織です。在学生の教育・研究での利用だけでなく、サークル活動支援、近隣の方々、高校生への東工大紹介など、ものづくり活動の啓発拠点としても活発に活動しています。

● 放射線総合センター

放射性同位元素、放射線発生装置及び表示付認証機器を利用する者の教育研究を支援するとともに、安全管理、教育訓練の実施等全学の放射線安全管理の中心的役割を担っています。

● バイオサイエンス統合支援センター

全学的な遺伝子組換え実験・動物実験の教育訓練、最先端バイオ研究設備や研究環境、技術支援の提供、実験動物の維持・管理に対する支援を行っています。また、センターが所有する先端バイオ研究設備と機器を駆使して、境界領域で先進的な研究を行い、生命科学研究を推進することを目的としています。

● オープンイノベーション機構

本機構は「組織」対「組織」による本格的産学連携の実現を推進することを目的として設置された組織です。産業界と密接に連携しつつ、新規事業開拓から社会実装まで総合的に目指した協働研究拠点制度を中心に大型共同研究を推進していきます。

教職員・学生

教職員・学生数

2023年5月1日現在

教職員数

役員	学長	理事・副学長	監事	合計
学長、理事・副学長、監事	1	7	2	10

教員	教授			准教授			講師			助教			教論・養護教諭			実習助手			合計	
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計		
理学院	44	1	45	35	2	37	5		5	48	2	50							137	
工学院	67	3	70	57	12	69	1		1	40	6	46							186	
物質理工学院	42	5	47	39	6	45				49	2	51							143	
情報理工学院	29	2	31	17	4	21	2		2	21	5	26							80	
生命理工学院	26	5	31	21	7	28	3		3	31	4	35							97	
環境・社会理工学院	38	8	46	32	2	34				23	10	33							113	
リベラルアーツ研究教育院	16	3	19	13	9	22	4	1	5	4	1	5							51	
科学技術創成研究院	57	2	59	46	3	49		1	1	51	8	59							168	
国際先駆研究機構	1		1							1		1							2	
元素戦略MDX研究センター	2		2	1		1				2		2							5	
地球生命研究所	6		6	2		2													8	
教育共通組織	イノベーション人材養成機構			1	1	2													2	
	リーダーシップ教育院	1	2	3	1	1	2		1	1									6	
共通支援組織	エネルギー・情報卓越教育院	3	1	4	2		2												6	
	保健管理センター	3		3	2		2												5	
	学生支援センター		2	2															2	
	教育革新センター	1	1	2	1		1												3	
	学術国際情報センター	7		7	1		1			1		1							9	
	放射線総合センター				1		1												1	
	博物館	1		1															1	
	オープンイノベーション機構	1		1															1	
	運営組織	2		2																2
	その他						1	1												1
附属科学技術高等学校													36	11	47		3	3	50	
合計	347	35	382	272	48	320	15	3	18	271	38	309	36	11	47		3	3	1,079	

(注) 教論・養護教諭は、副校長・主幹教諭を含む。

マネジメント教員	マネジメント教授			マネジメント准教授			合計
	男	女	計	男	女	計	
学術国際情報センター				4		4	4
学生支援センター		1	1		1	1	2
企画本部	1	1	2	1	1	2	4
合計	1	2	3	5	2	7	10

職員	事務系			技術技能系			医療系			合計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
事務職員・技術職員等	255	269	524	81	25	106		4	4	634

非常勤教職員数

教員	特命教授			特任教授			特任准教授			特任講師			特任助教			特定教授			特定准教授			特定講師			特定助教			合計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
非常勤教員	14		14	133	12	145	72	11	83	9	4	13	60	12	72	81	6	87	35	3	38	5	1	6	9		9	467

職員	副学長			事務系			技術技能系			医療系			教務系			合計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
非常勤職員(週30時間以上勤務)	1		1	114	497	611	151	87	238	1	1	2		2	2	854
非常勤職員(週29時間以下勤務)	1	1	2	25	299	324	124	152	276	1	1	2	3		3	607
非常勤職員合計	2	1	3	139	796	935	275	239	514	2	2	4	3	2	5	1,461

研究員等の受入数

部局等	客員研究員	受託研究員	民間等共同研究員	日本学術振興会特別研究員			合計
				PD	DC2	DC1	
理学院	5		2	7	16	16	46
工学院	12	4	16	2	10	12	56
物質理工学院	8	10	46		16	22	102
情報理工学院	4		3	2	9	3	21
生命理工学院	1	21	43	3	8	8	84
環境・社会理工学院	17	12	2	3	9	4	47
リベラルアーツ研究教育院				2			2
科学技術創成研究院	11	9	91	1			112
先駆研究組織	1		17	2			20
共通教育組織・共通支援組織等			2				2
合計	59	56	222	22	68	65	492

(注) 日本学術振興会特別研究員は、新規採用及び継続を含む。

客員研究員の国または地域別

2022年度延べ受け入れ人数

国または地域		人数	国または地域		人数
アジア	インド	9	大洋州	ニュージーランド	2
	インドネシア	4	北米	アメリカ合衆国	8
	ウズベキスタン	2		カナダ	2
	韓国	9	中南米	チリ	1
	カンボジア	2		ブラジル	2
	タイ	5		ペルー	1
	台湾	5	ヨーロッパ	イギリス	12
	日本	2		イタリア	5
	中国	35		ギリシャ	1
	マレーシア	3		スウェーデン	1
モンゴル	1	スペイン		8	
中近東	イスラエル	1		ドイツ	12
	イラン	3		フランス	6
	サウジアラビア	1	ポーランド	2	
アフリカ	エジプト	6	ロシア	1	
	ケニア	1	合計	153	

教職員・学生数

2023年5月1日現在

学士課程学生数（類別）

類	1年		合計	類	1年		合計
	男	女			男	女	
第1類				第5類			
第2類				第6類			
第3類				第7類	1 (0)		1 (0)
第4類				合計	1 (0)		1 (0)

(注) ()内は外国人留学生数で、左側の数字の内数。

学士課程学生数（系別）

学院	系	定員	1年		2年		3年		4年		系合計*	学院合計
			男	女	男	女	男	女	男	女		
理学院	数学系	162 (2)	11 (1)	30 (2)	2 (0)	27 (0)	1 (0)	41 (0)	1 (0)	102 (2)	697 (13)	
	物理学系			56 (2)	6 (0)	63 (2)	3 (0)	84 (1)	5 (0)	217 (5)		
	化学系			28 (1)	5 (0)	30 (0)	3 (1)	42 (1)	3 (0)	111 (3)		
	地球惑星科学系			20 (0)	5 (0)	20 (0)	2 (0)	46 (0)	1 (0)	94 (0)		
	計			151	162 (2)	11 (1)	134 (5)	18 (0)	140 (2)	9 (1)		213 (2)
工学院	機械系	353 (7)	25 (1)	119 (5)	14 (0)	126 (3)	5 (1)	157 (10)	8 (1)	429 (20)	1,628 (67)	
	システム制御系			46 (1)	2 (0)	44 (2)	6 (0)	44 (2)	8 (2)	150 (7)		
	電気電子系			88 (4)	6 (1)	92 (3)	5 (0)	117 (5)	10 (5)	318 (18)		
	情報通信系			45 (2)	4 (0)	50 (3)	3 (1)	48 (4)	5 (1)	155 (11)		
	経営工学系			54 (0)	8 (1)	54 (0)	7 (0)	60 (1)	15 (1)	198 (3)		
	計			358	353 (7)	25 (1)	352 (12)	34 (2)	366 (11)	26 (2)		426 (22)
物質理工学院	材料系	166 (4)	24 (1)	81 (0)	12 (0)	79 (0)	17 (1)	104 (7)	12 (4)	305 (12)	772 (26)	
	応用化学系			76 (0)	11 (0)	77 (4)	14 (0)	82 (3)	17 (2)	277 (9)		
	計			183	166 (4)	24 (1)	157 (0)	23 (0)	156 (4)	31 (1)		186 (10)
情報理工学院	数理・計算科学系	97 (3)	4 (0)	32 (2)	1 (0)	34 (1)	4 (0)	45 (0)	5 (1)	121 (4)	434 (12)	
	情報工学系			59 (0)	2 (0)	57 (1)	9 (1)	78 (2)	7 (1)	212 (5)		
	計			92	97 (3)	4 (0)	91 (2)	3 (0)	91 (2)	13 (1)		123 (2)
生命理工学院	生命理工学系	150	24 (1)	144 (2)	108 (0)	35 (0)	110 (1)	43 (3)	141 (3)	45 (2)	482 (9)	650 (12)
	計			144 (2)	108 (0)	35 (0)	110 (1)	43 (3)	141 (3)	45 (2)	482 (9)	
理工学環境・社会学院	建築学系	116 (23)	31 (4)	28 (0)	20 (0)	39 (1)	19 (0)	39 (1)	25 (0)	170 (2)	584 (102)	
	土木・環境工学系			23 (0)	9 (0)	23 (0)	9 (0)	34 (0)	9 (0)	107 (0)		
	融合理工学系			37 (14)	11 (6)	37 (21)	16 (7)	47 (21)	12 (4)	160 (73)		
	計			134	116 (23)	31 (4)	88 (14)	40 (6)	99 (22)	44 (7)		120 (22)
合計	1,068	1,038 (41)	119 (8)	930 (33)	153 (8)	962 (42)	166 (15)	1,209 (61)	188 (24)	3,608 (183)	4,765 (232)	

(注1) ()内は外国人留学生数で、左側の数字の内数。(注2) *「系合計」は、系所属の学士課程学生(2～4年)の合計数。

学士課程学生数（学科別）

学部	学科	4年次		計		合計
		男	女	男	女	
理学部	数学	2 (0)		2 (0)		2 (0)
	物理学	1 (0)		1 (0)		1 (0)
	地球惑星科学	1 (0)		1 (0)		1 (0)
	計	4 (0)		4 (0)		4 (0)
工学部	化学工学	1 (0)		1 (0)		1 (0)
	情報工学	4 (0)		4 (0)		4 (0)
	計	5 (0)		5 (0)		5 (0)
理工学生命学部	生命科学	1 (0)		1 (0)		1 (0)
	計	1 (0)		1 (0)		1 (0)
合計		10 (0)		10 (0)		10 (0)

(注) ()内は外国人留学生数で、左側の数字の内数。

学士課程学生数（総計）

	1年		2年		3年		4年		計		合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
総計	1,039	119	930	153	962	166	1,219	188	4,150	626	4,776

教職員・学生数

2023年5月1日現在

大学院生数

Table showing graduate student numbers by faculty and department, including enrollment and capacity data for Master's and Doctoral courses.

大学院生数

Table showing graduate student numbers by faculty and department, including enrollment and capacity data for Master's and Doctoral courses.

(注1) *1は博士後期課程のみ。*2は専門職学位課程。*3は専門職学位課程を含む。(注2)()内は外国人留学生数で左側の数字の内数。

研究生等

Table showing the number of students by department, including categories like subject-based students, national/private students, and international students.

(注)()内は外国人留学生数で左側の数字の内数。

教職員・学生数

2023年5月1日現在

国または地域別留学生数

国または地域	学 士	修 士	博士後期	専門職 学位	研究生等	合 計
アジア						
バングラディシュ	3	6	6		1	16
カンボジア		7	5		2	14
中華人民共和国	104	542	390	1	31	1068
インド	5	12	10			27
インドネシア	12	36	62		8	118
大韓民国	35	39	33		5	112
マレーシア	17	6	10		1	34
モンゴル	11	6	3			20
ミャンマー	1		1			2
ラオス			2		1	3
ネパール		4	1			5
パキスタン			2		2	4
フィリピン	1	8	10		1	20
シンガポール	1	2			4	7
スリランカ		3	4			7
台 湾		14	17		11	42
タ イ	28	35	30		7	100
ベトナム	8	10	15			33
中近東						
イラン			5		1	6
ヨルダン		4	2			6
オマーン		2	1			3
サウジアラビア			3			3
シリア			1			1
トルコ		1	2		4	7
パレスチナ		1				1
アラブ		1	1			2
アルジェリア		1	1			2
エジプト		1	5		2	8
エチオピア			1			1
ケニア		2			1	3
モロッコ					2	2
チュニジア		1	1		1	3
コートジボワール		1				1
リベリア		1				1
ジブチ			1			1
大洋州						
オーストラリア		1	1		2	4
ニュージーランド		1				1
北米						
カナダ	1	3	3		1	8
アメリカ		13	11		4	28
中南米						
ブラジル	2	7	3		1	13
チリ		1				1
コロンビア		1				1
エクアドル		1				1
グアテマラ		1				1
ジャマイカ			1			1
メキシコ		1	6		1	8
パナマ					1	1
ペルー		2				2
ベネズエラ			1			1
ハイチ		1				1
トリニダード・トバゴ			1			1
ヨーロッパ						
オーストリア			2		1	3
ブルガリア			1			1
デンマーク		2			1	3
フィンランド					2	2
フランス		3	1		14	18
ドイツ			3		13	16
ギリシャ			2			2
アイスランド		1				1
イタリア		1	3		3	7
カザフスタン			1			1
リトアニア		1				1
マケドニア		1				1
オランダ			2		3	5
ノルウェー					2	2
ポーランド	1					1
ロシア		3	1			4
スペイン		1	1		1	3
スウェーデン			1		9	10
スイス			1		8	9
イギリス	1	1	3		1	6
ウクライナ	1					1
ルーマニア			1			1
合 計	232	793	675	1	153	1,854

入学状況

2023年5月1日現在

入学状況

区 分	学 士 課 程						合 計
	理学院	工学院	物質理工学院	情報理工学院	生命理工学院	環境・社会理工学院	
志願者数	796	1,673	496	910	367	605	4,847
募集人員	151	358	183	92	150	134	1,068
入学者数	157	359	187	97	159	142	1,101

区 分	修 士 課 程						合 計
	理学院	工学院	物質理工学院	情報理工学院	生命理工学院	環境・社会理工学院	
志願者数	309	1,016	621	318	241	506	3,011
入学定員	154	477	347	135	168	263	1,544
入学者数	161	494	379	149	164	275	1,622

区 分	専門職学位課程	合 計
	環境・社会理工学院	
志願者数	70	70
募集人員	40	40
入学者数	35	35

区 分	博 士 後 期 課 程						合 計
	理学院	工学院	物質理工学院	情報理工学院	生命理工学院	環境・社会理工学院	
志願者数	45	70	66	23	31	53	288
入学定員	52	169	129	50	52	115	567
入学者数	40	61	62	19	26	42	250

学士課程入学者の出身高校の所在地

地 域	都道府県	入学者数	地 域	都道府県	入学者数	地 域	都道府県	入学者数																	
北 海 道	北海道	18	中 部	福井県	4	中 国	山口県	4																	
	東 北	青森県		4	近 畿		山梨県	2	九 州・沖 縄	徳島県	0														
		岩手県		5			中 国	長野県		4	四 国	香川県	3												
		宮城県		9				中 部		岐阜県		6	九 州・沖 縄	愛媛県	5										
		秋田県		0						近 畿		静岡県		18	九 州・沖 縄	高知県	1								
		山形県		3								近 畿		愛知県		38	九 州・沖 縄	福岡県	16						
		福島県		7										近 畿		三重県		5	九 州・沖 縄	佐賀県	2				
		茨城県		16												近 畿		滋賀県		2	九 州・沖 縄	長崎県	5		
		栃木県		11														近 畿		京都府		5	九 州・沖 縄	熊本県	4
		群馬県		10																近 畿		大阪府		10	九 州・沖 縄
関 東	埼玉県	65	中 国	兵庫県	14	九 州・沖 縄	宮崎県	2																	
	千葉県	113		中 国	奈良県		6	九 州・沖 縄	鹿児島県	7															
	東京都	372			中 国		和歌山県		2	九 州・沖 縄	沖縄県	5													
	神奈川県	199					中 国		鳥取県		1	九 州・沖 縄	その他	51											
	中 部	新潟県							10		中 国		島根県	1	九 州・沖 縄	合 計	1,101								
		富山県							7				中 国	岡山県		8	九 州・沖 縄								
		石川県							7					中 国		広島県		10	九 州・沖 縄						

進路状況・学位授与数

2022年度実績

学士・学部の就職状況

学院・学部	卒業生数	製造業	非製造業	教員	公務員	その他	進学者数
理学院	139		10			7	122
工学院	389	14	35		1	12	327
物質理工学院	196	4	7			12	173
情報理工学院	109		10		1	9	89
生命理工学院	148	2	11	1		5	129
環境・社会理工学院	142	2	8		2	13	117
理学部	1					1	
工学部	8		2			5	1
生命理工学部							
合計	1,132	22	83	1	4	64	958

(注) その他：留学、研究員、研究生、進学準備中、就職準備中、未回答・不明、その他

修士の就職状況

学院・研究科	修了者数	製造業	非製造業	教員	公務員	その他	進学者数
理学院	166	65	53	1	2	12	33
工学院	586	278	212		2	23	71
物質理工学院	426	237	80		2	45	62
情報理工学院	153	19	91		3	24	16
生命理工学院	184	67	70		2	10	35
環境・社会理工学院	364	37	210	2	11	51	53
合計	1,879	703	716	3	22	165	270

(注) その他：研究員を除く一年未満の有期雇用労働者、研究従事者（任期付き・報酬なし）、研究生、留学、就職準備中、未回答・不明、その他

専門職学位課程の就職状況

研究科	修了者数	製造業	非製造業	教員	公務員	その他	進学者数
環境・社会理工学院	3					3	
合計	3					3	

(注) その他：未回答

博士の就職状況

研究科	修了者数	製造業	非製造業	教員	公務員	学振研究員	ポストドクター	復職	その他
理学院	28	6	8	2		2	6	3	1
工学院	92	16	18	10	1	1	14	16	16
物質理工学院	77	25	15	4	2	1	4	5	21
情報理工学院	24	2	7	7		1	3	1	3
生命理工学院	33	6	8	1		2	8	1	7
環境・社会理工学院	59	2	20	6		1	3	12	15
理工学研究科									
生命理工学研究科	2		2						
総合理工学研究科	4								4
情報理工学研究科									
社会理工学研究科	5			1				2	2
イノベーションマネジメント研究科									
合計	324	57	78	31	3	8	38	40	69

(注) 学振研究員：日本学術振興会特別研究員
 復職：社会人学生が修了後、本務先へ復職した場合
 その他：進学、研究員・PDを除く一年未満の有期雇用労働者、研究従事者（任期付き・報酬なし）、就職準備中、未回答・不明、その他

博士学位授与数

区分	課程博士				論文博士			
	理学	工学	学術	合計	理学	工学	学術	合計
理工学研究科								
生命理工学研究科	2			2				
総合理工学研究科		4		4				
情報理工学研究科								
社会理工学研究科		3	2	5				
イノベーションマネジメント研究科								
理学院	28			28				
工学院	2	74	16	92		4		4
物質理工学院	9	65	3	77				
情報理工学院	11	4	9	24				
生命理工学院	17	10	6	33	1		1	2
環境・社会理工学院		43	16	59		3		3
合計	69	203	52	324	1	7	1	9

プログラム

教育プログラム

学士課程教育プログラム

● 四大学連合複合領域コース

東京医科歯科大学、東京外国語大学、一橋大学、東京工業大学は、四大学連合憲章を締結し、相互の交流と教育課程の充実を図ることを目的として、複合領域コースを設置しています。在学中にコースが定める科目の所要単位を修得し合格した場合に、コース修了が認定されます。

2023年5月1日現在

区 分	履修者
四大学連合複合領域コース	651
グローバル理工人育成コース（初級・中級）	1,832

(注) 初級・中級は修士課程の学生も対象としています。履修者のうち、746名は修士課程学生です。

● グローバル理工人育成コース（初級・中級）

同コースに所属する学生は、系の標準課程の学修に加え、コースが定める科目の履修および海外留学を通じ、以下の能力の習得を目指します。
(1) 国際意識、(2) 英語力・コミュニケーション能力、(3) 異文化理解力、チームワーク力、(4) 課題発見・解決力、(5) 実践的能力

大学院教育プログラム

● 副専門学修プログラム

学生が選択したコース等以外の分野を履修し、広範な知識・技能を修得させることにより、複眼的並びに学際的及び俯瞰的な視点を養うことを目的にしたプログラムです。各コースが定める科目の所要単位を修得した場合には、課程修了時にプログラム修了を認定されます。

● デュアルディグリープログラム

博士後期課程に在籍する大学院生が環境・社会理工学院技術経営専門職学位課程にも所属し、それぞれの学位を取得するプログラムであり専攻分野について、独自の研究や自立して研究活動を行い、高度な専門性を担うため深い学識や卓越した能力を修得させるプログラムです。

● 学位プログラムとして特別に設けた教育課程

産学官にわたる社会の要請に応えながら、国際社会を牽引できる卓越した能力を養成する修士・博士を一貫した大学院教育課程として、本学では以下7つの教育課程を実施しています。各教育課程が定める科目の所要単位を修得した場合には、各教育課程の修了が学位記に付記されます。

- ・リーダーシップ教育課程 (ToTAL)
- ・グローバルリーダー教育課程 (AGL)
- ・環境エネルギー協創教育課程 (ACEEES)
- ・情報生命博士教育課程 (ACLS)
- ・物質・情報卓越教育課程 (TAC-MI)
- ・超スマート社会卓越教育課程 (WISE-SSS)
- ・エネルギー・情報卓越教育課程 (ISE)

2022年度

区 分	修了者
副専門学修プログラム	18
デュアルディグリープログラム	3
特別専門学修プログラム	118
東工大ー清華大 大学院合同プログラム	5

● 東工大ー清華大 大学院合同プログラム

本学と清華大学（中華人民共和国）が共同で大学院の学生教育を行い、日本語、中国語及び英語の素養を持ち、日中双方の文化・習慣に通暁した優れた理工系の人材を養成し、両国の科学技術及び産業経済の発展に資することを目的としたプログラムです。

● 特別専門学修プログラム

最先端分野や社会的な課題等に対応するため、全学的な見地から既存のコースとは別の枠組みによる横断的なカリキュラムを備えたプログラムです。各コースが定める科目の所要単位を修得した場合には、課程修了時にプログラム修了を認定されます。

● グローバル理工人育成コース（上級）

学士課程で培った国際性に関する基礎力をもとに、国際教養、国際リーダーシップ、発想力・価値創造力、国際共同研究基礎力などを習得します。(2023年5月1日現在の履修者：44名)

国際大学院プログラム

● 国際大学院プログラム

国際大学院プログラムは講義を全て英語で提供するプログラムです。履修する専門分野は様々ですが、多くは国際的課題となっている分野を専門とするプログラムにおいて、関連する複数のコースが教育を実施します。専門以外

にも、教育、文化などの講義、日本語講座を準備し、修了後、日本で職を求める学生が、日本社会で活躍できるよう工夫が施されています。また、特に優秀な学生には文部科学省国費奨学金が与えられます。

2023年5月1日現在

学 院	修士課程	博士後期課程	合 計
理学院	20	13	33
工学院	140	156	296
物質理工学院	96	102	198
情報理工学院	37	43	80
生命理工学院	47	63	110
環境・社会理工学院	125	103	228
計	465	480	945

研究プログラム

特色ある研究プログラム

● WPI*アカデミー拠点 地球生命研究所 (ELSI)

地球の起源・進化の研究から得た初期地球環境の情報を基に、生命の起源の謎に迫ります。地球惑星科学及び生命科学を融合した生命惑星学を開拓し、世界的研究拠点を目指します。

期 間	2022.4.1 ~
代表研究者	関根 康人

(注) *World Premier International Research Center Initiative
*WPI…文部科学省世界トップレベル研究拠点プログラム

● データ創出・活用型マテリアル研究開発プロジェクト：智慧とデータが拓くエレクトロニクス新材料開発拠点

文部科学省 データ創出・活用型マテリアル研究開発プロジェクトにおいて、計算科学・データ活用を取り入れたMDXシステムによる新電子機能材料群の高速・高効率開発と、センターで培った経験及び独創的な材料開拓の発想を持つ「マテリアル×デジタル (M×D)」人材の育成に、学内外と広く連携して取り組み、電子材料の元素フロンティアを開拓し、豊富で無害な元素で新しい材料科学分野の発展に資するための研究を行います。

期 間	2022.10.1 ~ 2031.3.31
代表研究者	神谷 利夫

研究推進体

2022年7月1日現在

研究課題	研究推進体名	研究代表者		
		所 属	職 名	氏 名
持続可能な未来型健康社会の実現	未来型スポーツ・健康科学研究推進体	生命理工学院	教 授	林 宣宏
情報科学を駆使した中分子創薬基盤の開発	中分子IT創薬研究推進体	情報理工学院	教 授	秋山 泰
社会的課題の解決に向けたデータサイエンスおよびAIの研究の推進	社会的課題解決型データサイエンス・AI研究推進体	情報理工学院	学院長(教授)	増原 英彦
領域横断的な循環共生圏農工業基盤の確立	循環共生圏農工業研究推進体	情報理工学院	教 授	山村 雅幸
FPGAアクセラレータおよびFPGA活用基盤の開発	アダプティブコンピューティング研究推進体	情報理工学院	教 授	吉瀬 謙二
いじめ問題の減少軽減に向けた文理融合的研究とその実装	「いじめゼロ!」研究推進体	リベラルアーツ研究教育院	教 授	上田 紀行

産学連携・社会連携

企業・自治体との協定等

● 産学連携推進にかかる連携協定締結機関

2023年5月1日現在

法人名	締結日	テーマ
株式会社みらい創造機構	2016. 5.13	総合的な社会連携活動の推進事業の実施
芙蓉総合リース株式会社・株式会社みらい創造機構	2017.10.27	知的財産を活かした製品・サービスや事業の創出・育成
川崎市	2018. 5.21	イノベーションを通じた地域の振興
独立行政法人日本貿易振興機構	2018. 5.30	学術研究面、人材教育面、産学連携面等での国際的な展開を推進
西武信用金庫	2018. 7.31	地域社会の発展
株式会社横浜銀行	2019. 3. 6	地域経済の持続的な成長・活性化
国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構	2019. 5.29	相互の起業家支援に係る活動において連携を図り、協力すること
Beyond Next Ventures株式会社	2019.10.10	相互の起業家支援に係る活動において連携を図り、協力すること
SOZO Ventures LLC・国立大学法人東京医科歯科大学	2023. 3.30	相互の起業家支援に係る活動において連携を図り、協力すること

● 自治体等との包括連携協定

自治体等名	有効期間	目的
目黒区	2019. 3. 5 ~ 2024. 3. 4	自然と調和し互いに支え合うまちの形成と、次代を担う創造性豊かな人材を育成する
大田区	2023. 4.18 ~ 2024. 4.17	地域産業の振興と地域文化の興隆に貢献し、かつ、次代を担う創造性豊かな人材を育成する
横浜市	2021. 3.17 ~ 2026. 3.31	社会課題の解決に取り組むとともに、産学官連携によるイノベーションを創出し、産業振興と国際連携を促進し、地域社会の発展と豊かな未来社会の実現に貢献する
港区	2021.12.13 ~ 2024. 3.31	地域活性化及び産業振興、教育活動等を展開し、地域社会及び学術研究の発展に寄与する
よい仕事おこしフェア実行委員会	2022. 9.13 ~ 2027. 9.12	地域の活性化と産業の振興、地域課題の解決を図り、地域社会の発展に寄与する

共同研究講座

● 共同研究講座

2023年5月1日現在

共同研究講座名	連携企業	設置期間	設置部局	研究題目
情報流通基盤システム共同研究講座	エヌ・ティ・ティコミュニケーションズ株式会社	2010. 4. 1 ~ 2025. 3.31	IIR	情報流通基盤システムに関する研究
移動通信ネットワーク共同研究講座	ソフトバンク株式会社	2017. 4. 1 ~ 2026. 3.31	工学院	移動通信ネットワーク共同研究講座
次世代AIロボティクス共同研究講座	株式会社ホンダ・リサーチ・インスティテュート・ジャパン	2017. 6. 1 ~ 2024. 3.31	工学院	次世代の人工知能、ロボティクス、および、これらの融合技術に関する研究
リコー次世代デジタルプリンティング技術共同研究講座	株式会社リコー	2019. 4. 1 ~ 2025. 3.31	工学院	次世代デジタルプリンティング技術の核となる要素技術研究を行い、当該技術の開発・設計指針を提示
構造物次世代メンテナンス共同研究講座	東海旅客鉄道株式会社	2019. 9. 1 ~ 2025. 8.31	環境・社会理学院	土木構造物の新しい維持管理手法に関する研究
ジェイテクト 革新的基盤技術共同研究講座	株式会社ジェイテクト	2020. 4. 1 ~ 2026. 3.31	工学院	機械要素と機構およびその力学・音響特性に関する研究
DENSO IT LAB 認識・学習アルゴリズム共同研究講座	株式会社デンソーアイティラボラトリー	2020. 4. 1 ~ 2025. 3.31	情報理学院	産業応用のための機械学習アルゴリズムの研究
YASKAWA未来技術共同研究講座	株式会社安川電機	2020. 4. 1 ~ 2026. 3.31	工学院	人協働ロボット用超軽量アクチュエータに関する研究
三菱電機パワーエレクトロニクス基盤技術 共同研究講座	三菱電機株式会社	2020. 4. 1 ~ 2024. 3.31	工学院	パワーエレクトロニクスの基盤・要素技術に関する研究
未来デバイス・システム共同研究講座	ソニーグループ株式会社	2022. 4. 1 ~ 2025. 3.31	工学院	安全安心で持続可能な社会に貢献する次世代デバイス・システム技術に関する研究
ENEOSスマートマテリアル共同研究講座	ENEOS株式会社	2023. 4. 1 ~ 2026. 3.31	物質理工学院	スマートマテリアルに関する研究
ソニーデータ駆動型世界戦略共同研究講座	ソニー株式会社	2023. 4. 1 ~ 2025. 3.31	情報理学院	会社のコンシューマーAV市場において、AI (+BI) 技術を用いて市場 & 実売予測する仕組み & システムを構築する

(注) IIR：科学技術創成研究院

協働研究拠点

● 協働研究拠点

2023年5月1日現在

協働研究拠点名	連携企業	設置期間	設置部局	研究題目
コマツ革新技術共創研究所	株式会社小松製作所	2019. 4. 1 ~ 2024. 3.31	IIR	トライボロジー技術に関する研究
AGCマテリアル協働研究拠点	AGC株式会社	2019. 7. 1 ~ 2026. 3.31	物質理工学院	東京工業大学とAGCの技術力融合・強化によるマテリアルソリューションの創出

協働研究拠点名	連携企業	設置期間	設置部局	研究題目
TEPCO 廃炉フロンティア技術創成協働研究拠点	東京電力ホールディングス株式会社	2020. 4. 1 ~ 2025. 3.31	IIR	福島第一原子力発電所の廃炉関連技術に関する研究
デンソーモビリティ協働研究拠点	株式会社デンソー	2020. 4. 1 ~ 2025. 3.31	工学院	モビリティ関連先端技術に関する研究
出光興産次世代材料創成協働研究拠点	出光興産株式会社	2020. 4. 1 ~ 2026. 3.31	物質理工学院	次世代材料の創出に関する研究
LG Material & Life Solution 協働研究拠点	LG Japan Lab株式会社	2021. 4. 1 ~ 2024. 3.31	IIR	Material & Life Scienceに関する研究
アルバック先進技術協働研究拠点	株式会社アルバック	2021. 9.22 ~ 2026. 9.30	IIR	真空装置の高性能化に関する研究
マルチモーダル細胞解析協働研究拠点	セルシュートセラピューティクス株式会社	2021.10. 1 ~ 2024. 9.30	IIR	創薬支援のための新規技術開発
東洋インキグループ協働研究拠点	東洋インキSCホールディングス株式会社	2022. 1.13 ~ 2025. 1.12	IIR	新規機能性材料とその応用システムの研究
JFEエンジニアリング カーボンニュートラル協働研究拠点	JFEエンジニアリング株式会社	2022. 7. 1 ~ 2025. 6.30	IIR	カーボンニュートラル技術に関する研究
三菱マテリアル サステナビリティ革新協働研究拠点	三菱マテリアル株式会社	2022. 9. 7 ~ 2026. 3.31	IIR	持続可能な社会に貢献する革新的な材料およびプロセスに関する研究
富士通次世代コンピューティング基盤協働研究拠点	富士通株式会社	2022.10.20 ~ 2026. 3.31	情報理学院	AI並びにHPCアプリケーション高速化に向けた次世代コンピューティング基盤に関する研究
住友化学次世代環境デバイス協働研究拠点	住友化学株式会社	2023. 4. 1 ~ 2026. 3.31	IIR	マルチフェロイクス材料を用いた低消費電力デバイスの開発
三菱電機 エネルギー & カーボンマネジメント協働研究拠点	三菱電機株式会社	2023. 4. 1 ~ 2026. 3.31	IIR	エネルギー & カーボンマネジメント、カーボンサイクル等に関する研究及び未来洞察・技術トレンド分析による新技術の探索・創出活動
micware未来ナビゲーション協働研究拠点	株式会社ミックウェア	2023. 4. 1 ~ 2026. 3.31	工学院	次世代ナビゲーションシステムに関する研究

(注) IIR：科学技術創成研究院

2022年度知財管理

発明届出件数	国内出願件数	ライセンス・有償譲渡件数	ライセンス・有償譲渡金額 (千円)
262	200	154	101,422

東工大発ベンチャー企業

● 東工大発ベンチャー称号授与企業数等

2023年5月1日現在

称号授与累計	148社
--------	------

● 令和4年度以降に称号付与した企業の概要

授与番号	承認日	名称	事業概要等	申請資格該当条項	起業時期
149	2023. 4.27	ディーフェザー株式会社	デジタル技術、深層学習技術を用いた、気象情報などの処理や提供など	第1号 第2号	2023. 3.29
148	2023. 4.27	株式会社elleThermo	再生可能エネルギー発電及びオール電化製品・機器、その他の新エネルギーに係る製品・機器の製作・販売並びにそれらのメンテナンス・コンサルティング・知識の社会への普及業務	第1号 第2号	2023. 2.22
147	2023. 4.27	Inspired Micro Crystals株式会社	タンパク質の製造販売。タンパク質を用いたレアメタル、レアアース及び貴金属の回収と検出。タンパク質を用いた放射性物質の除去など	第1号 第2号	2022.10. 4
146	2023. 1.26	株式会社GX ENERGY	原子力発電所の格納容器フィルターベントシステムおよび放射性気体の吸着除去システム、被爆防止システム、革新安全炉、鋼製原子炉建屋の耐震・免震・自然冷却システム、空気浄化システムの研究開発と製造	第1号 第2号	2022.12. 2
145	2022.11.30	株式会社FerroptoCure	抗がん剤の研究、開発及び製品化、創業基盤を用いた新規薬剤の創出等	第1号 第2号	2022. 5.30
144	2022. 9.27	vivola株式会社	不妊治療データ検索サービス、治療支援SaaSの提供 女性健康関連事業	第2号	2020. 5. 8
143	2022. 9.27	株式会社CoilSite	ロケーションベースAR技術を用いたスマホゲームの開発、運営	第2号	2022. 3.22
142	2022. 8.24	レフィクシア株式会社	土木業界の施工効率化に向けたICT端末・アプリ・Webサービスの提供	第2号	2019. 4.22
141	2022. 6.28	株式会社アクセルベックス	自己腫瘍細胞ベクター（シン・ベック）を用いた新規がん免疫療法の研究開発 a-ガラクトシルセラミド（a-GalCer）パルス樹状細胞療法の事業開発	第2号	2021. 7.21
140	2022. 5.30	Ammon Fields株式会社	次世代アンモニア触媒の開発 中央制御型移動式アンモニア生成コンテナプラントの開発	第1号	2022. 4. 1

(注) 申請資格該当条項

第1号：設立時において、本学、本学の職員若しくは学生が所有する特許権等の知的財産権又は本学において達成した研究成果若しくは本学において習得した技術等を活用する企業
第2号：設立した者又は設立に深く関与した者の全部若しくは一部が、本学の職員又は学生（職員又は学生であった者を含む。）であって、かつ申請時において当該職員等が経営に参画する企業

海外の協定校一覧

2023年5月1日現在

部局間協定 (118協定)

[凡例] F…教員・研究者交流 S…学生交流 S'…ダブルディグリー I…学術情報交換

国と地域	機関名	関係する部局									締結	内容
		理学院	工学院	物質理工学院	情報理工学院	生命理工学院	環境・社会理工学院	リベラルアーツ研究教育院	科学技術創成研究院	センター等		
台湾	国立陽明交通大学工学部 (旧国立交通大学)			○							2020	S'
	工業技術研究院電子・光電子システム研究所							○			2017	F・I
	国立成功大学工学部		○	○			○				2018	S
タイ	タマサート大学工学部化学工学科		○	○			○				2006	F・S・I
	タマサート大学工学部		○	○			○				2018	S
	タイ国立シンクロトロン光研究所		○								2018	F・I
ベトナム	ベトナム原子力委員会							○			1999	F・I
	ベトナム国家大学ハノイ校自然科学大学物理学部							○			2003	F・S・I
中近東	サウジアラビア アブドゥラ国王科学技術大学超高性能計算研究所								学術国際情報センター	2017	F・S・I	
	イラン テヘラン大学工学部		○	○		○				2018	F・S・I	
大洋州	オーストラリア ロイヤルメルボルン工科大学建築環境工学科						○			2018	F・S・I	
	オーストラリア国立大学工科・コンピューター科学部		○	○			○			2018	F・S・I	
	ニュージーランド オークランド大学工学部		○	○			○			2018	F・S・I	
北米	カナダ マギル大学			○						2018	F・I	
	アメリカ	マサチューセッツ工科大学機械工学科		○	○			○			1991	F・S・I
		マサチューセッツ工科大学先進原子力研究センター							○		2006	F・I
		マサチューセッツ工科大学原子力科学工学科		○	○			○			2019	S
		ライス大学ナノスケール科学技術研究所	○								2008	F・S・I
		ペンシルバニア州立大学地球科学・鉱物科学部			○						2009	S
		ペンシルバニア州立大学工学部		○	○			○			2018	S・I
		ウィスコンシン大学マディソン校工学部		○	○			○			2010	S
		ノースウェスタン大学土壌環境工学科						○			2012	F・S・I
		カリフォルニア大学サンタバーバラ校工学部		○	○			○			2014	S
		コーネル大学工学部材料工学科			○						2018	F・S・I
	ジョージア工科大学21世紀型大学センター								教育革新センター	2018	F・I	
	ハワイ大学マノア校トンプソン社会福祉・公衆衛生学部								国際先駆研究機構	2023	F・I	
チェコ CVR研究所							○		2019	F・I		
デンマーク デンマーク王立芸術アカデミー建築学部						○			2017	F・S・I		
ヨーロッパ	フランス	エコール・ナショナル・ボン・ゼ・ショセ		○	○			○		2010	S'	
		ピエール・マリー・キュリー大学 (UPMC) (現ソルボンヌ大学)		○	○			○		2012	S	
		ソルボンヌ大学理工学部		○	○			○		2019	F・S・I	
		エクス-マルセイユ大学 (ノフランス国立科学研究センター) イオン及び分子物理研究所							○		2012	F・I
		フランス国家計量標準研究所			○						2016	F・S・I
		ナント大学理工学部			○						2017	F・S・I

国と地域	機関名	関係する部局									締結	内容
		理学院	工学院	物質理工学院	情報理工学院	生命理工学院	環境・社会理工学院	リベラルアーツ研究教育院	科学技術創成研究院	センター等		
フランス	フランス国立航空宇宙研究所			○							2018	F・S
	エコール・ポリテクニク		○	○			○				2006	S
	原子力・新エネルギー庁 (CEA)							○			2020	F・S・I
ドイツ	アーヘン工科大学数学・情報科学・自然科学部、土木工学部、機械工学部、地圏資源材料工学部、電気工学・情報技術学部		○	○			○				2012	S
	アーヘン工科大学電気工学・情報技術学部			○							2021	S
	ハンブルク工科大学科学技術マネジメント研究科						○				2012	F・S・I
	ドイツ航空宇宙センター			○							2016	F・S・I
	ヘルムホルツ研究センタードレスデン・ロッセンドルフ							○			2018	F・S・I
	マックスプランク高分子研究所界面物理部門			○							2018	F・S・I
	ダルムシュタット工科大学物理学科	○									2020	F・S・I
ハンガリー	ブダペスト工科大学	○	○							2022	F・S・I	
アイスランド	レイキャビク大学工学部						○			2014	F・S・I	
イタリア	メッシーナ大学工学部							○		2013	F・S・I	
	ジェノヴァ大学ポリテクニクスクール			○						2016	F・S・I	
	イタリア学術会議物質化学・エネルギー技術研究所			○						2016	F・S・I	
	トリノ工科大学地域および都市計画総合学科						○			2020	F・S・I	
ブルーノ・ケスラー財団							○		2020	F・I		
カザフスタン	カザフ国立大学化学部		○	○			○			2006	F・S・I	
	カザフ・ブリティッシュ工科大学エネルギー・石油・ガス産業学部		○	○			○			2006	F・S・I	
リトアニア	ヴィリニウス大生命科学センター						○			2019	F・S・I	
オランダ	デルフト工科大学QuTech							○		2017	F・S・I	
ノルウェー	NJALC: ノルウェー工科大学・自然科学大学自然科学・工学部、富山大学、九州大学、ノルスク・ハイドロ、SINTEF社、日本アルミニウム協会、富山県アルミニウム産業協会			○						2016	S・I	
ポーランド	ワルシャワ大学化学部			○						2016	F・S・I	
ロシア	モスクワ国立大生命科学・生命情報学部						○			2019	F・S・I	
セルビア	ベオグラード大学ピンカ原子力科学研究所							○		2011	F・I	
スロベニア	リュブリャナ大学人文学部		○	○			○			2007	F・S・I	
スペイン	マドリッド工科大学		○	○			○			2010	F・S・I	
	マドリッド工科大学		○	○			○			2012	S	
	バスカ材料応用ナノ構造研究センター							○		2021	F・I	
スウェーデン	バスカ大学工学部		○	○			○			2021	S	
	ヨンショーピン大学工学部			○						2016	F・S・I	
イギリス	カールスタッド大学健康科学技術学部		○	○			○			2018	F・S・I	
	カールスタッド大学健康科学技術学部		○	○			○			2018	S	
イギリス	ケンブリッジ大学工学部		○	○			○			2005	S	
	ケンブリッジ大学化学部		○	○			○			2008	S	
	オックスフォード大学エンジニアリング科学部		○	○			○			2006	S	

海外の協定校一覧

2023年5月1日現在

部局間協定 (118協定)

【凡例】 F…教員・研究者交流 S…学生交流 S'…ダブルディグリー I…学術情報交換

国と地域	機関名	関係する部局									締結	内容	
		理学院	工学院	物質理工学院	情報理工学院	生命理工学院	環境・社会理工学院	リベラルアーツ研究教育院	科学技術創成研究院	センター等			
ヨーロッパ イギリス	オックスフォード大学化学部		○	○			○				2008	S	
	オックスフォード大学材料学部		○	○			○				2008	S	
	ウォーリック大学工学部		○	○			○				2007	S	
	マンチェスター大学理工学部		○	○			○				2018	F・S・I	
	マンチェスター大学化学科					○					2021	F・S・I	
	サウサンプトン大学		○	○			○				2011	S	
	グラスゴー大学理工学部		○	○			○				2018	F・S・I	
	ロンドン芸術大学セントラル・セント・マーティンズ校		○	○			○				2019	F・S・I	
複数地域	ブリストル大学サウスウエストニュークリアハブ、京都大学複合原子力科学研究所							○			2020	F・S・I	
	テネシー大学バテル研究所有限責任会社(オークリッジ国立研究所情報・計算科学領域)、スイス連邦工科大学チューリッヒ校スイス国立スーパーコンピューティングセンター、ローレンス・リバモア国立研究所計算領域、アルゴン国立研究所情報・環境・生命科学領域、CSC-科学情報センター研究情報支援部門、ユーリッヒ研究所ユーリッヒスーパーコンピューティングセンター、産業技術総合研究所情報・人間工学領域、東京大学情報基盤センタースーパーコンピューティング研究部門、理化学研究所計算科学研究センター、オーストラリア国立大学国立情報基盤センター								学術国際情報センター		2016	F・I	
コンソーシアム	アジア・オセアニア地域工学系大学連盟 (AOTULE)		○	○			○				2007	F・S・I	
	Erasmus MundusによるMaMaSELF+プログラムコンソーシアム	○		○				○			2017	S	
	第4世代原子システムに関する国際フォーラム 鉛冷却高速炉に関する共同研究覚書：欧州委員会共同研究センター、ロスアトム、ソウル国立大学、米国エネルギー省								○			2010	F・I
	IPRESCA会議								○		2018	F・S・I	

海外拠点

2023年5月1日現在

Tokyo Tech ANNEX

名称	所在地	設置
Tokyo Tech ANNEX Bangkok	タイ王国パトゥムターニー県	2018 (タイオフィスとして2002設置)
Tokyo Tech ANNEX Aachen	ドイツ連邦共和国ノルトライン・ヴェストファーレン州アーヘン市	2019
Tokyo Tech ANNEX Berkeley	米国カリフォルニア州バークレー市	2021

海外オフィス

名称	所在地	設置
フィリピンオフィス	Tokyo Tech Philippines Office	フィリピン共和国マニラ市
中国オフィス	Tokyo Tech China Office	中華人民共和国北京市
エジプトE-JUSTオフィス	Tokyo Tech Egypt E-JUST Office	エジプト・アラブ共和国アレクサンドリア県

2023年度 収入と支出 (見込)

収入額内訳

(単位：百万円)

項目	金額	%	項目	金額	%
全学共通分	30,054	48.5	運営費交付金収入 (全学分)	19,276	31.1
			自己収入	8,119	13.1
			間接経費等 (全学共通分) 収入	2,659	4.2
部局分	1,647	2.7	間接経費等 (部局分) 収入	1,647	2.7
使途特定分	30,279	48.8	受託事業等収入	17,207	27.8
			施設整備事業収入	1,781	2.9
			運営費交付金収入 (使途特定分)	2,017	3.3
			長期借入金	7,580	12.2
			国立大学法人等債	1,694	2.7
合計				61,980	100.0

○奨学寄附金収入	646
○受託研究・受託事業収入	7,973
○共同研究費収入	3,135
○補助金等収入	5,453

○ミッション実現加速化経費	1,116
○特殊要因経費 (退職手当等)	901

支出額内訳

(単位：百万円)

項目	金額	%	項目	金額	%
全学共通分	30,054	48.5	人件費	17,005	27.4
			各部局の基盤的な教育・研究経費	8,324	13.4
			学長裁量経費	1,803	2.9
			光熱水料	2,922	4.7
部局分	1,647	2.7	間接経費等 (部局分) 支出	1,647	2.7
使途特定分	30,279	48.8	受託事業等支出	17,207	27.8
			施設整備事業支出	1,781	2.9
			運営費交付金支出 (使途特定分)	2,017	3.3
			長期借入金を充当する先行移転事業	7,580	12.2
			大学債を充当するXCIE2031事業	1,694	2.7
合計				61,980	100.0

○奨学寄附金支出	646
○受託研究・受託事業支出	7,973
○共同研究費支出	3,135
○補助金等支出	5,453

○ミッション実現加速化経費	1,116
○特殊要因経費 (退職手当等)	901

貸借対照表・損益計算書・外部資金詳細

貸借対照表

2023年3月31日(単位:百万円)

資産の部	金額	負債の部	金額
固定資産	236,531	固定負債	42,133
有形固定資産	205,599	長期繰延補助金等	1,725
土地	138,965	長期借入金	5,218
減損損失累計額	△5	国立大学法人等債	30,000
建物	105,003	長期預り金	4,829
減価償却累計額等	△66,053	その他の固定負債	360
構築物	8,753	流動負債	21,585
減価償却累計額等	△5,490	運営費交付金債務	862
工具器具備品	70,131	寄附金債務	9,526
減価償却累計額	△57,312	前受受託研究費	1,728
図書	6,926	前受共同研究費	1,630
建設仮勘定	4,175	前受受託事業費等	266
その他の有形固定資産	506	未払金	4,554
無形固定資産	417	その他の流動負債	3,016
投資その他の資産	30,514	負債合計	63,719
投資有価証券	28,917	純資産の部	金額
長期性預金	1,554	資本金	179,444
その他の投資その他の資産	43	政府出資金	179,444
流動資産	32,251	資本剰余金	△11,082
現金及び預金	23,187	資本剰余金	56,200
有価証券	6,000	減価償却相当累計額等	△67,283
その他の流動資産	3,064	利益剰余金	36,702
		前中期目標期間繰越積立金	5,989
		当期末処分利益	30,713
資産合計	268,783	純資産合計	205,064
		負債・純資産合計	268,783

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

2022年4月1日～2023年3月31日(単位:百万円)

区分	金額
経常費用(A)	51,591
業務費	48,342
教育経費	4,472
研究経費	5,967
教育研究支援経費	4,023
受託研究費	9,141
共同研究費	2,621
受託事業費等	600
役員人件費	181
教員人件費	13,432
職員人件費	7,900
一般管理費	2,698
財務費用	366
雑損	184
経常収益(B)	58,534
運営費交付金収益	21,846
学生納付金収益	7,347
受託研究収益	11,197
共同研究収益	3,614
受託事業等収益	703
寄附金収益	8,947
補助金等収益	2,485
施設費収益	116
その他の収益	2,275
臨時損益(C)	22,909
目的積立金取崩額(D)	861
当期総利益(B-A+C+D)	30,713

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2022年度外部資金データ

(単位:千円)

名称	件数	総額	うち間接経費
奨学寄附金	484	701,531	(33,374)
受託研究費	430	11,009,362	(1,987,333)
受託事業費	56	460,867	(38,373)
共同研究費	773	3,603,942	(822,282)
科学研究費助成事業	1089	4,590,998	(1,026,984)
その他補助金	84	2,316,714	(178,924)
合計	2,916	22,683,414	(4,087,270)

(注) ()内は、間接経費で内数。
共同研究費は民間から受け入れた共同研究の件数及び金額。
受託事業費は国等からの受け入れた受託事業や協賛金の件数及び金額。

2022年度東工大基金

(単位:千円)

件数	寄附金受入額
3,288	414,161

2022年度科学研究費助成事業

(単位:千円)

研究種目	件数	交付金額	うち間接経費
特別推進研究	1	75,530	(17,430)
新学術領域研究(研究領域提案型)	44	517,693	(119,468)
学術変革領域研究(A)	33	488,323	(112,690)
学術変革領域研究(B)	15	140,010	(32,310)
基盤研究(S)	12	433,940	(100,140)
基盤研究(A)	65	649,224	(149,821)
基盤研究(B)	236	1,101,939	(254,294)
基盤研究(C)	194	255,740	(58,177)
挑戦的研究(開拓)	14	123,500	(28,500)
挑戦的研究(萌芽)	76	206,700	(47,700)
若手研究	168	249,830	(56,268)
研究活動スタート支援	27	37,168	(8,340)
奨励研究	1	410	(0)
研究成果公開促進費(ひらめき☆ときめきサイエンス)	2	670	(0)
特別研究員奨励費	187	163,577	(7,982)
国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(A))	2	26,520	(6,120)
国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(B))	11	63,024	(14,544)
国際共同研究加速基金(国際先導研究)	1	57,200	(13,200)
合計	1,089	4,590,998	(1,026,984)

(注1) ()内は、間接経費で内数。(注2)翌年度への繰越額を含む。

キャンパス

アクセス

アクセスマップ

●大岡山キャンパス

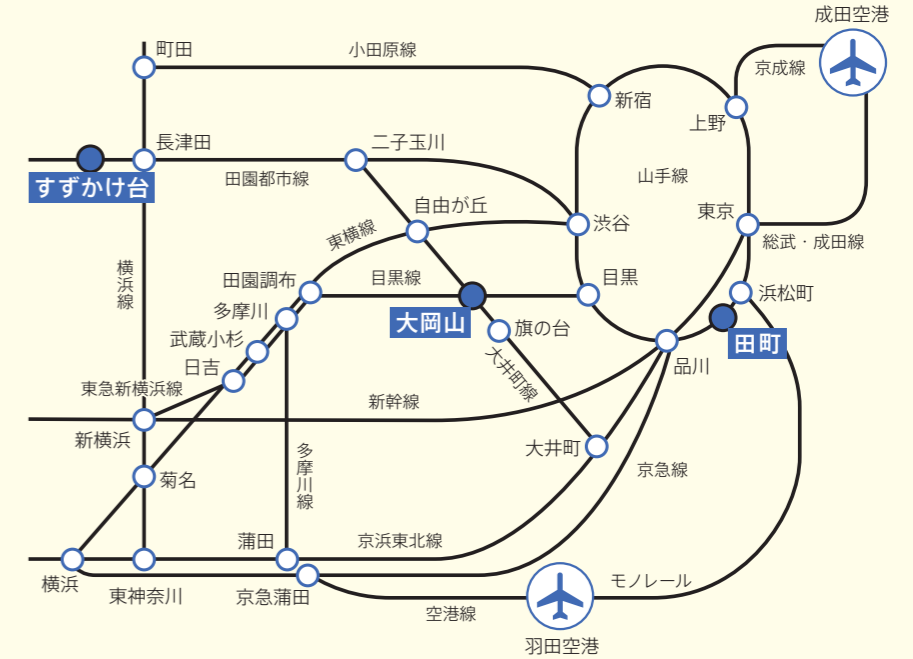
東急大井町線・目黒線大岡山駅下車徒歩1分
羽田空港から約55分、東京駅から約30分

●すずかけ台キャンパス

東急田園都市線すずかけ台駅下車徒歩5分
羽田空港から約70分、東京駅から約70分

●田町キャンパス

JR山手線・京浜東北線田町駅下車徒歩2分
羽田空港から約35分、東京駅から約10分



教育・研究施設所在地

団地名	学院等名	所在地	交通	備考
大岡山	理学院、工学院、物質理工学院、情報理工学院、生命理工学院、環境・社会理工学院、リベラルアーツ研究教育院、科学技術創成研究院(ゼロカーボンエネルギー研究所)、事務局、その他	〒152-8550 東京都目黒区大岡山2-12-1	東急大井町線・目黒線 大岡山駅下車 徒歩1分	
	国際交流会館	〒145-0061 東京都大田区石川町1-1-18	東急大井町線・目黒線 大岡山駅下車 徒歩13分 東急池上線 石川台駅下車 徒歩6分	
すずかけ台	科学技術創成研究院(未来産業技術研究所、フロンティア材料研究所、化学生命科学研究所)、その他	〒226-8503 神奈川県横浜市緑区長津田町4259	東急田園都市線 すずかけ台駅下車 徒歩5分	
田町	附属科学技術高等学校、その他	〒108-0023 東京都港区芝浦3-3-6	JR山手線・京浜東北線 田町駅下車 徒歩2分	
松風台	松風留学生会館	〒227-0067 神奈川県横浜市青葉区松風台21-13	東急田園都市線 青葉台駅下車 徒歩10分	
梅が丘	梅が丘留学生会館	〒227-0052 神奈川県横浜市青葉区梅が丘17-2	東急田園都市線 藤が丘駅下車 徒歩15分	
駒場	国際交流会館	〒153-0041 東京都目黒区駒場4-5-29	京王井の頭線 駒場東大前駅 徒歩約3分	
戸田	「福利厚生関係施設」(艇庫)	〒355-0024 埼玉県戸田市戸田公園1-55	JR埼京線戸田公園駅下車 徒歩15分	収容人員 30名
塩山	「福利厚生関係施設」(山小屋)	〒402-0211 山梨県甲州市塩山大字小屋敷字滑沢2319-1	JR中央本線塩山駅下車 約12km(徒歩約3時間)	収容人員 40名
草津	多元レジリエンス研究センター (草津白根火山観測所)	〒377-1711 群馬県吾妻郡草津町草津641-36	JR吾妻線長野原草津口駅から JRバス草津温泉下車 徒歩30分	

キャンパスマップ

大岡山キャンパス



石川台地区

- 1 石川台1号館
- 2 石川台2号館
- 3 石川台3号館
- 4 石川台4号館

- 5 石川台5号館
- 6 石川台6号館
- 7 石川台7号館 (ELSI-1)
- 8 石川台8号館 (ELSI-2)

- 9 石川台9号館
- 10 石川台実験棟1
- 11 国際交流会館本館

Ishikawadai Area

大岡山南地区

- 1 大岡山南1号館
- 2 大岡山南2号館
- 3 大岡山南3号館
- 4 大岡山南4号館
- 5 大岡山南5号館
- 6 大岡山南6号館

- 7 大岡山南7号館
- 8 大岡山南8号館
- 9 大岡山南9号館
- 10 大岡山南講義棟
- 11 大岡山南実験棟1
- 12 大岡山南実験棟2

- 13 大岡山南実験棟3
- 14 大岡山南実験棟4
- 15 大岡山南実験棟5
- 16 サークル棟1

Ookayama South Area

大岡山西地区

- 1 大岡山西1号館
- 2 大岡山西2号館
- 3 大岡山西3号館
- 4 大岡山西4号館
- 5 大岡山西講義棟1 (レクチャーシアター)
- 6 大岡山西講義棟2

- 7 大岡山西7号館
- 8 大岡山西8号館 (W)
- 9 大岡山西8号館 (E)
- 10 大岡山西9号館
- 11 70周年記念講堂
- 12 屋内運動場

- 13 サークル棟2
- 14 サークル棟3
- 15 大岡山西5号館
- 16 大岡山西6号館

Ookayama West Area

大岡山東地区

- 1 本館
- 2 本館講義棟
- 3 事務局1・2号館
- 4 事務局3号館

- 5 事務局4号館
- 6 事務局5号館
- 7 学術国際情報センター
- 8 Hisao & Hiroko Taki Plaza

- 9 附属図書館(大岡山図書館)
- 10 百年記念館
- 11 大岡山東1号館
- 12 大岡山東2号館

Ookayama East Area

大岡山北地区

- 1 大岡山北1号館
- 2 大岡山北2号館
- 3 大岡山北3号館(環境エネルギーイノベーション棟)
- 4 大岡山北実験棟1
- 5 大岡山北実験棟2A
- 6 大岡山北実験棟2B

- 7 大岡山北実験棟3A
- 8 大岡山北実験棟3B
- 9 大岡山北実験棟4
- 10 大岡山北実験棟5
- 11 大岡山北実験棟6
- 12 大岡山北実験棟7

- 13 大岡山北実験棟8
- 14 保健管理センター
- 15 80年記念館
- 16 サークル棟5
- 17 サークル棟6
- 18 東工大蔵前会館

Ookayama North Area

緑が丘地区

- 1 緑が丘1号館
- 2 緑が丘2号館
- 3 緑が丘3号館

- 4 緑が丘4号館
- 5 緑が丘5号館(創造プロジェクト館)
- 6 緑が丘6号館

- 7 緑が丘講義棟
- 8 緑が丘ハウス

Midorigaoka Area

キャンパスマップ

すずかけ台キャンパス

B地区 B-Area

- ① B1・B2棟
- ② B1・B2-A棟
- ③ B1・B2-B棟
- ④ B1・B2-C棟

S地区 S-Area

- ① S1棟
- ② S2棟
- ③ S3棟(すずかけ台図書館)
- ④ S4棟
- ⑤ S5棟
- ⑥ S6棟
- ⑦ S7棟
- ⑧ S8棟

R地区 R-Area

- ① R1棟
- ② R1-A棟
- ③ R1-B棟
- ④ R2棟
- ⑤ R2-A棟
- ⑥ R2-B棟
- ⑦ R2-C棟
- ⑧ R2-D棟
- ⑨ R2-E棟
- ⑩ R3棟
- ⑪ R3-A棟
- ⑫ R3-B棟
- ⑬ R3-C棟
- ⑭ R3-D棟

G地区 G-Area

- ① G1棟
- ② G2棟
- ③ G3棟
- ④ G4棟
- ⑤ G4-A棟
- ⑥ G5棟

H地区 H-Area

- ① H1・H2棟(大学会館)

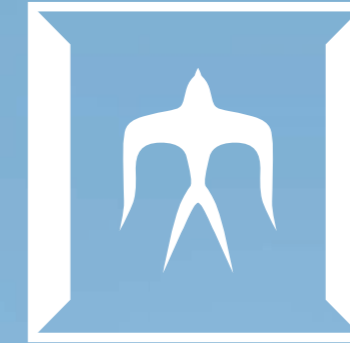
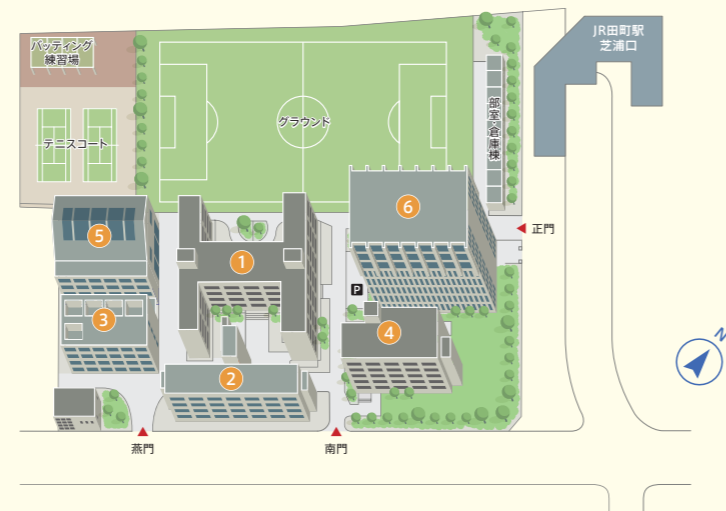
J地区 J-Area

- ① J1棟
- ② J2・J3棟



田町キャンパス

- ① 1号館
- ② 2号館
- ③ 3号館
- ④ 4号館
- ⑤ 体育館
- ⑥ キャンパス・イノベーションセンター



【 シンボルマーク 】

上のシンボルマークは、1948年に当時東京美術学校教授であった堀進二氏の図案によるもので、工業の「工」の字につばめの「大」の字を図案化して配しています。「工」の字は窓を象っており、学窓の意味をも象徴しています。当初は、職員バッジの図案として採用され、以後、シンボルマークとして広く親しまれて使用されてきました。1981年、本学の創立百年に当たり、正式に本学のシンボルマークとして定め、今日に至っています。正式に定めるに当たっては、手島精一先生のご令孫で当時東京藝術大学助教授であられた手島有男氏に図案作成の協力をいただきました。